

入院診療計画書② 化学療法(シスプラチン)放射線治療同時療法

患者ID: 患者ID
患者氏名: 氏名

新規作成日: 新規作成日

日付	1月1日	1月2日	1月3日	1月4日	1月5日	1月6日	1月7日	1月8日	1月9日	1月10日	1月11日	
	入院日	入院2日目(投与日)	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目	入院8日目	入院9日目	入院10日目	入院11日目	
目標	尿量測定方法がわかる 入院生活について理解できる		急激な腎機能低下がない				嚥下障害の症状・所見がない					
	転倒予防行動ができる 精神的準備ができています		化学療法、放射線療法の副作用を理解し予防方法を実施できる。				血管炎の症状・所見がない 化学療法、放射線療法の副作用を理解し予防方法を実施できる。					
注射	抗がん剤治療に向けて、 身体負担を軽減するための点滴を行います。 点滴の針は1週間で刺し替えます。	シスプラチンという抗がん剤の点滴を行います。 副作用(吐き気など)防止のための点滴を行います。	点滴を行います。							点滴を行います。 予定では本日で点滴が終了となりますが、食事量や採血結果次第では点滴が継続になります。		
投薬	持参薬をお預かりし、 確認させていただきます。	胃薬と吐き気止めが処方されます。 栄養剤の処方があります。 フレーバーで味をつけて飲んでもらいます。 一日1本飲むだけ飲んでください。 癌剤投与1時間前に吐き気止めを内服します。										
検査	点滴を開始する前に採血を行います。			採血		採血			採血		採血	
放射線	放射線治療を併用される方は、看護師から声がかかるまでお待ち下さい。 放射線治療併用の場合は照射部位は4回/日(起床時・朝・昼・眠前)、温タオルで押し拭きし保湿剤を塗っていただきます。 保湿剤をご準備ください。準備できていない場合は看護師へお伝えください。									退院後の放射線治療の日程時間等、放射線治療室で相談してから退院してください。		
処置	医師の指示で診察をすることがあります。その際は病棟で行います。 医師の指示で喉の奥をカメラで観察することがあります。照射部位には4回/日(起床時・朝・昼・眠前)、温タオルで押し拭きし保湿剤を塗っていただきます。 保湿剤の種類については、放射線治療室看護師に確認をお願いします。											
食事	入院後より食事が出ます。食べにくい物があるときなどは看護師にご相談ください。		食べにくい物があるときなどは看護師にご相談ください。 持ち込み食をされる方は看護師まで声をかけてください。									
清潔	点滴開始前に入浴または、シャワー浴が可能です。状態によっては入浴やシャワーができないこともあります。その際は体拭きをしていきます。 点滴後、入浴やシャワー浴を行う場合、点滴の針が入っている部分を保護しながら行ってもらいます。									退院日は入浴等できません。 退院後ご自宅でお入りください。		
	口の中の清潔を心がけましょう。 ※毎食後必ず歯ブラシを実施しましょう。 ※一日8回程度はうがいをして口腔内の乾燥を予防しましょう。うがい薬の処方があります。											
排泄	入院中は小水の量を測ります。 ※排尿時は便座に座り、カップへ排尿してください。カップに取った尿量を用紙に記入してもらいます。カップの尿は便器へ処理してください。 水を流す際には便座を開けて2度流してください。カップはビニール袋へ入れて看護室へお持ちください。排便などで尿が測れなかった場合は看護師にお知らせください。											
活動	安静度	安静度は特に制限はありませんが、治療によって免疫の低下がおき感染を起こしやすくなります。マスクの着用を心がけましょう。外出・外泊はできません。										
	リハビリ	リハビリが開始されることがあります。										
看護ケア	入院時に入院生活での必要な事の説明をします。 入院生活の御案内のパンフレットを確認してください。 ネームバンド、ピクトグラムの説明と装着をします。 入院生活で気を付けていただきたい9箇条について説明をします。 転倒転落危険度カードを表示します。 また、環境の変化によって転倒の危険が増すという説明のビデオを見て頂きます。 貴重品はセーフティボックスを使用し鍵は必ず手首に装着してください。 緊急連絡先を伺います。 今までの経過などの確認をさせていただきます。 ナースコールの説明をします。 治療についてパンフレットを用いて説明します。										退院後の生活についてご説明します。 ・人混みにはできるだけ行かず、外出時にはマスクの着用をしましょう。 ・手洗い、うがいも継続してください。 ・歯ブラシ、うがいも継続してください。 ・食事は食べれるものを食べましょう。 ・発熱した際や風邪症状が出た場合は外来に相談してください。 ・お仕事の復帰については主治医と相談してください。 ・放射線治療をしている方は皮膚の処置を継続し、赤みや痛み、飲み込みにくさが出てきた場合は外来で相談しましょう。 ・その他、普段と異なる症状が出現した場合は外来へ相談してください。	朝食後の退院になります。 会計後一度病棟へ戻っていただき、必要書類、薬を手渡してから退院になります。
	身長・体重を測定します。		朝起きたら看護室前の体重計で体重を測定してください。									
	飲水量の記録を尿量の測定記録と併行して行ってもらいます。入院時カップをお渡ししますので、飲水時はそのコップへ入れ量を確認し記録用紙に飲水量を記載してください。 体から毒素を排出するため、医師から水分制限がされている方以外は飲水を積極的に行ってください。											
確認事項	必要な書類の確認をします。											
経過表	一日2回お熱などを測定します。抗がん剤投与中は頻回に測定していきます。 症状や不安なことをお尋ねします。											